

ハンザクラスダブルハンドマッチレース選手権

2017年9月10日

レポート

日程・タイムスケジュール

9月10日(日)	8時30分～9時	受付
9時10分		開会式・艇長会議・組み合わせ発表
10時00分		第一レース予告信号
10時05分	第一予選	第一組スタート
11時20分	第一予選	終了
11時30分	第2予選	スタート
12時30分	第2予選	終了
13時00分	準々決勝	スタート
13時30分	準々決勝	終了
13時40分	準決勝	スタート
14時00分	準決勝	終了
14時15分	決勝&3位決定戦	スタート
14時40分		全レース終了
15時30分		表彰式



9月10日に大阪北港マリーナでハンザクラス2人乗り303でダブルハンドのマッチレースが開催されました。

大阪では過去8回行われたダブルハンドのマッチレース。

ハンザ303で多くの障害や年齢経験の違った選考を勝ち抜いた26名14組の参加者によって争われました。

レースは、予選から、対戦相手の船と乗り換え各組2レースを行ない。勝ち抜いたチームが次のレースにトーナメント表の別の相手と、また船を乗り換え各組2レースを行ないました。

3レース目はベスト4の戦いです。勝ち抜いた2チームで、決勝レース。惜しくも敗れた組どうしで、3位決定戦が行なわれました。午前中風が弱くて、進行が危ぶまれましたが午後から北港らしい、西風が吹出し、順調にレースが進行しました。

結果は、1位は、三重県から参加の、脳梗塞半身麻痺65歳の小林宗雄さんと、伊勢のセーリングコーチ景山裕二さんのチームが、2位の大阪の藤田親子組に競り勝ちました。

3位は、これも三重県から参加の、両下肢機能全廃70歳の寺西哲也さんとセーリングボランティアの西山明さん65歳が、堺市の東畑さん親子に、競り勝ちました。

今後の障がい者セーリング競技の新しい可能性を見出すことのできた大会となりました。



